

記者発表（配付）資料

平成 23 年 9 月 26 日

所属部課	館長	副館長	担当	連絡先
萩博物館	湯本重男	樋口尚樹	樋口尚樹	25-6447
須佐歴史民俗資料館	前田 功		久原憲治	08387-6-2310

件名	萩市立須佐歴史民俗資料館テーマ展 「藩校明倫館と郷校育英館」の開催について
----	--

萩博物館では、年に 1 回、萩市須佐歴史民俗資料館を会場に、萩博物館と須佐歴史民俗資料館の所蔵する資料を活用して、テーマ展示を行っています。本年は江戸期の教育施設「明倫館」と「育英館」について取り上げ、資料で紹介します。

明倫館は、享保 4 年（1719）5 代萩藩主毛利吉元によって創建され、13 代藩主毛利敬親のときの嘉永 2 年（1849）に現在の明倫小学校の場所に移転、拡充されました。吉田松陰は明倫館の兵学教師で、木戸孝允や高杉晋作・久坂玄瑞らも明倫館で学びました。

育英館は、益田家 27 代元道（萩藩永代家老）によって明倫館開校直後の享保年間（1716～35）に創建されました。特に幕末には、吉田松陰の松下村塾や明倫館とも盛んに行き来し、伊藤博文や久坂玄瑞、品川弥二郎なども来訪しました。

1. 会 期 : 平成 23 年 10 月 4 日（火）～12 月 4 日（日）
2. 会 場 : 萩市立須佐歴史民俗資料館
(萩市大字須佐 4441 番地 19 TEL:08387-6-3916)
3. 開館時間 : 午前 9 時～午後 4 時 30 分
4. 入館料 : 大人（高校生以上）300 円、小人（小中学生）150 円
5. 休館日 : 月曜日（ただし 10 月 10 日は開館）、祝日の翌日（10 月 11 日、12 日、11 月 4 日、24 日）
6. 展示内容 : 明倫館と育英館の関係資料 25 点を展示します。また、吉田松陰が育英館生の 大谷茂樹に贈った自筆の書 1 点も特別公開します。



特別公開：土規七則・須佐の七生邑に帰るに贈る言（吉田松陰自筆）